



2009～2010 年度 RI 会長
John Kenny



東京赤坂ロータリークラブ
NO.1086 / 2010.04.09
例会/ANA インターコンチネンタル東京
Tel 03-3505-1111
事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8
赤坂 2 丁目アネックス 3F
Tel 03-3505-5976
Fax 03-3505-6004
<http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaki>

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「かけがえのない親睦を享受し、他者のためにつくす」

2009～2010年度 東京赤坂ロータリークラブテーマ/四分一勝会長

●本日の例会/2010 年 4 月 9 日 第 1111 回例会

本日の卓話：「植物工場について」
九州電力株式会社 生物資源研究センター
副主幹研究員 中原 光久 氏

●前回報告/2010 年 4 月 2 日 1110 回例会

卓話：「最近の事業承継動向について」
UK パートナーズ会計事務所
事務所代表 税理士 樺澤智生氏



卓話紹介 吉岡会員

社会奉仕委員会：(長谷川弘志委員長)

- ① チリの募金受付しております。ご協力をお願いします。
- ② 外に出ようが近づいてまいりました。ボランティアに参加して下さるメンバーは日程の確認をお願いします。

広報委員会：(長谷川弘委員)

本日お手元に届きましたロータリーの友をご案内します。P4 ロータリーとは、という記事があります。ロータリーの発祥過程が短い文の中によく表れているように思います。その他おもしろい記事が出ています。是非お読みください。



次年度橋本幹事：3 月 24 日に次年度役員・理事・委員長会議が開催されました。詳細は 4 月 9 日号の週報に掲載いたします。

親睦活動委員会：(橋本委員長) ① 4 月 4 日は麻布 RC との合同ゴルフ大会です。参加者の皆様の健闘を祈ります。連勝を期してください。

② 4 月 6 日は恒例の火曜会です。今回は大日方会員の 2 回目のイニシエーションスピーチです。皆様の参加を願います。



慶事披露：

100%出席／
荒木昭文君(19 年)、
吉岡琢磨君(18 年)
村山公士君(14 年)、
尾関武男君(10 年)
庄司泰典君(11 年)



4 月 2 日/12 件 26,000 円 本年度累計 954,000 円
多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

四分一勝/桜満開のお祝い付で今日は皆出席の方が大勢いらっしゃいます。おめでとうございます。吉岡琢磨/樺澤さん、本日の卓話ありがとうございます。皆出席祝ありがとうございます。尾関武男/アメリカに留学している孫が念願のハイスクールに入学決まりました。そして私の 100%出席お祝いありがとうございます。西澤民夫/桜坂を通ってきました。満開でした。風が心配です。荒木昭文/春の嵐で桜の花が心配ですね。19 年の 100%出席皆様のおかげです。村山公士/皆出席のお祝いありがとうございます。清水寛/私がやっております合唱団が 5 月 29 日(土)にサントリーホールブルーローズで演奏会をします。整理券を私が持っていますので、聴いてやろう、という方はどうぞ。小林博茂/桜も明日、あさってですが、天候は悪そうです。来週の例会の時は、もう終わり。あつと言う間ですネ。石井謙次/橋本さん、いよいよ 70 歳ですね。でも 8 掛ですから 56 歳です。土屋東一/桜坂の桜がとてもキレイです。飯島さん、ニコニコ当番ご苦労さまです。庄司泰典/11 年皆出席祝ありがとうございます。飯島則之/皆出席の方々素晴らしい年数の方が多いですね。沢山のニコニコありがとうございます。

出席報告：会員 47 名/出席 28 名・欠席 19 名

ゲスト/ 樺澤智生(卓話者)

ビジター/ 野末源一(東京南 RC)、矢野弾(東京世田谷 RC) 計 2 名 (順不同・敬称略)

●次回予告/2010 年 4 月 9 日(金) 第 1111 回例会

第 5 回クラブ協議会 (13:10 ~ 15:00)

テーマ：「例会の活性化」

2010～2011 年度・役員・理事・委員長会議

3月24日(水)にANA インターコンチネンタルホテル36階マンハッタンラウンジにて開催されました。当日は役員・理事・委員長の皆様方17名の参加で会議を行いました。冒頭、吉岡次年度会長、高須次年度副会長、四分一会長から情熱溢れるお話が次年度に向けてありました。引き続き各委員長の方々から次年度の活動に当たっての前向きなお話が相次いで熱く語られました。次年度のクラブテーマもこの場で吉岡会長から示されました。「**原点に帰ろう 友情と絆 行動する赤坂ロータリークラブ**」です。

次年度は、このテーマである「**原点・友情・絆・行動**」を念頭にクラブの活性化を計る覚悟であります。又、ロータリー綱領が橋本次年度幹事が朗読し全員で確認しあいました。全員で一致協力の基に素晴らしいロータリーライフを送る事を誓いあい和気あいの会議でありました。参加されました役員・理事・委員長の方々、ありがとうございました。

<事務連絡>

① 各委員会の委員長は4月末までに副委員長、委員の構成を願います。各委員の兼務は3委員会といたしましたので、よろしくお願いいたします。

② 各委員会の活動方針は5月中旬までにご提出願います。

参加者：吉岡次年度会長、高須次年度副会長、四分一会長、橋本次年度幹事、入沢、尾関、清水、岩上、尾上、西澤、村山、竹本、小林、長谷川(弘)、内田、飯島、岡澤 (橋本記)

～会議議事録の要点は次のとおりです(議事録担当 岡澤)～

吉岡(会長)：会員増強が大きな課題。60名行かないとクラブとして立ち行かない。出席率も悪く、地区の他クラブの出席率80%が上回っている状況を見ると、ワーストの部類に入るのはないか。次年度は、会長として私も死に物狂いで頑張るので、協力をお願いしたい。

橋本(幹事)：委員会メンバーは4月末までに確定する。次年度は一人当たりの兼務を最高3つまでとしたい。活動方針は5月中旬までに決めてほしい。また活動方針には、是非とも新しい内容を織り込んでほしい。

高須(副会長)：新規入会者の勧誘もちろん大事だが、出席率向上にも力を入れていきたい。

四分一(直前会長)：20年前に当クラブをスタートしたときは、23名であった。その直後に当クラブからガバナーを出した時は30名程度だったが、それでも地区大会を成功に導くことができた。その時のパワーを「原点回帰」として取り戻していきたい。

入沢(社会奉仕)：委員長を指名されると、拒否できないし、するべきでない。私も会長経験者だが、吉岡会長から指名されたので頑張っていきたい。ただ、何をしていけば良いか悩んでいる。皆様からの意見を賜りたい。なお、「地域社会」は村山会員、「環境保全」は松永会員、「新世代」は岡澤会員が、それぞれを率いてもらう。

村山(ロータリー情報)：高齢のメンバーの退会が増えてきたため、会を維持するためには会員増強を行っていかなければならない。日本のロータリーはエスタブリッシュメントの集まりというイメージが強いが、米国ではそうではない。もっと門戸を広げることも検討せうばよいのでは。

尾関(会員選考)：増強と防止の2チームに分けて、しっかりと会員確保をしていきたい。当クラブには「赤坂」という世界に誇れるブランドがついている。それを活かし、会員増強に役立てていきたい。

清水(会報)：過去4年間は、私と内田会員が2回ずつ委員長を担っている。これはある意味困ったことだが、任命された以上は頑張っていきたい。次年度の当クラブの一番の課題は会員増強だが、会報でもそれを踏まえた形にしていきたい。

内田(ロータリー財団)：私が会報担当だった時は、会報作成は主に事務局に依頼し、私自身はその他の活動を中心にやってきた。ロータリーは「依頼されたら断らない」という精神があるので、依頼されたことは、出来る限り受けていきたい。

竹本(奉仕)：昨年度・本年度の奉仕委員会のクラブ活動計画書を拝見すると、2年続けて内容が全く同じだった。次年度の活動計画は5月までに内容を刷新して作りたい。

長谷川(SAA)：会員の皆様を暖かく迎え入れられるよう、頑張っていきたい。

飯島(国際奉仕)：まだ手探りの状態だが、委員長として頑張っていきたい。

西澤(会計・副幹事)：「クラブ」という言葉の語源は「割り勘」である。クラブ会計も「割り勘」の精神で乗り切っていきたい。

岡澤(副幹事)：入会して半年なので、何をやっていけば良いか良く分からないが、精一杯頑張っていきたい。なお、4月から半年間、学校に通うのでクラブの参加は滞ってしまうが、ご容赦いただきたい。

小林(広報)：皆様の協力を得ながら赤坂ロータリークラブの活性化につながる広報活動を実施したい。詳細は活動方針で示したい。

尾上(会員増強)：数字で申し上げると、当クラブの会員数は47名だが、休会者を除くと実質は42名となる。これは東京地区の平均会員数46名から比べると、4名少ない。少なくともこの不足分は充足させたい。

岩上(親睦)：次年度も楽しい企画を考えていきたい。親睦活動に費用がかかることは否めないが、上手くコントロールして参加者を増やしたい。

